

れ も ん  
「檸檬の画家」小館善四郎展



「瑠璃壺れもん・昼」(油彩/1983年制作)

期日 / 2021年 3月 17日(水) ~ 21日(日)

10:00~20:00 (最終入場19:30) [夜20時までご覧いただけます]

会場 / 協同組合タッケン美術展示館(青森市民美術展示館) 1・2階 展示室

青森市新町2丁目7-1 ※お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をお使いください。

主催 / 一般財団法人 青森市文化観光振興財団・青森市教育委員会

後援 / 東奥日報社・毎日新聞青森支局・朝日新聞青森総局・読売新聞青森支局・陸奥新報社・デーリー東北新聞社

NHK 青森放送局・青森放送・青森テレビ・青森朝日放送・エフエム青森・青森ケーブルテレビ

問い合わせ先 / 一般財団法人 青森市文化観光振興財団 TEL 017-773-7304

入場無料

令和2年度 第3回 あおもり文化とアート展

あおもり  
文化と  
アート展

# 「檸檬の画家」小館善四郎展

好評だった平成24年の個展から、およそ8年ぶりの単独展示です！

## 生涯に渡る創作の軌跡を一挙に展示します

● ● ● ● ● 展示数…36作品 ● ● ● ● ●



「一隅」  
(油彩／1938年制作)

### 【大型作品】

青森市文化会館常設3部作を中心に  
「花の朝」「瑠璃壺れもん・昼」「遠い灯 夜」など

### 【いつもの部屋でいつも在る】

静物画を中心に  
「一隅」「厚司静物」「早春窓辺」「梟と芒」など

### 【発光する檸檬と女子と風景と】

中期作品を中心に  
「窓の中の少女」「檸檬より」「山路」など

### 【まどろみ帰り来る表現世界】

写実作品を中心に  
「赤衣少女」「瑠璃壺れもん」「稲穂・れもん」など

## こだて ぜんしろう 小館 善四郎 プロフィール

小館善四郎（1914～2003）は、1914（大正3）年青森市に生まれ、青森中学校（現：青森高校）では先輩の鷹山宇一、同期の関野準一郎、佐藤米次郎らとともに南部公鎮に絵の指導を受けました。その後、帝国美術学校（現武蔵野美術大学）に進学し、牧野虎雄に師事します。同郷の先輩、松木満史らに勧められ、1938（昭和13）年に国画会に初出品、初入選し、1948（昭和23）年には同会最高賞の国画奨学賞を受賞しました。1957（昭和32）年に青森市浅虫より栃木市に転居し、その5年後には町田市に転居します。そして1989（平成元）年に再び青森市浅虫に帰郷するまでの32年間、静物画を中心として精力的に作品を描きました。1996（平成8）年、故郷の青森の人々に機会をとらえて鑑賞してもらいたいとの本人の厚意から、長年の画業を築いてきた記念碑的な代表作品31点が青森市に寄贈されました。小館は、20代の時に読んだ梶井基次郎の短編「檸檬」（れもん）に感銘を受けたことがきっかけとなり、後にレモンをモチーフとして、自らの心象を投影した作品を多く制作し、「れもんの画家」と称されています。絵の職人である「絵師」の精神を尊び、長年の習練によって培われた卓越した技術と感性により生み出された数々の作品は、多くのファンを魅了し続けています。



「稲穂・れもん」  
(油彩／1996年制作)